

来を楽しもう

先の見えない時代で、想像力と実践をもって未来をかたちづくるために

市では、他地域の住民を受け入れ、産業活性化や地域協力活動などに取り組んでもらう、総務省の地域おこし協力隊制度を活用したまちづくりを進めています。

今回は、目まぐるしく状況が変化していく先の見えない時代で、地域おこし協力隊制度を活用した取り組みの一環として、想像力と実践をもって未来をかたちづくる活動を始めたNCL(ネクストコモンズラボ)南相馬の取り組みを紹介します。

問合せ 被災者支援・定住推進課 ☎245269

南相馬市

だからこそ、

生み出せる価値

NCL南相馬は、市が、全国で地域おこし協力隊を活用したプロジェクトを実行している一般社団法人NCL(東京都)と株式会社小高ワーカーズベース(小高区)とで立ち上げた組織です。

スローガンは「予測不能な未来を楽しもう」。NCL南相馬は、東日本大震災と原発事故によって、少子高齢化や事業所の閉鎖などの地域の課題が

深刻化した本市だからこそ、全国に先駆けて課題解決のノウハウを生み出せると考えています。

未来へつなぐ、

なりわいづくり

NCL南相馬の目指すものは、生産年齢人口の流出や空き家・空き地・空き店舗などの増加といった地域の課題の解決と、商売が両立する持続可能な「なりわい」をつくることです。

NCL南相馬は、最終的に、

なりわいの種となる10のプロジェクトを進める起業候補者10人と、事務局の3人で構成される予定です。また、10人の起業家が、南相馬に移り住み、皆さんと協働して各プロジェクトの事業化を目指すことで、地域が活性化する未来像を実現していきます。

各プロジェクトの説明とNCL南相馬が思い描く南相馬の未来像を4〜5ページに掲載しています。



企業研修参加者と南相馬の可能性を考察



4月20日、NCL南相馬が発足



首都圏や仙台市で起業家の採用説明会を開催

予 測 不 能 な 未

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは？

市が、他地域から地方に移り住む人を隊員として1～3年の間、委嘱し、地域力向上を図る取り組みです。

隊員は、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などに従事します。

本市の隊員は現在、起業型と地域定着型の2つに分かれて活動しています。

農家民宿 コーディネーター



つなまなみ
綱 真奈美
鳥取県 出身

ネクスト コモンズ ラボ Next Commons Lab 南相馬

起業型 地域おこし協力隊

起業家 10人着任予定



起業家



起業家



起業家



起業家



起業家



起業家



起業家



起業家



起業家



起業家



いちのせき はるか
一関 宙
仙台市 出身



うざわ りか
鵜澤 里佳
富岡町 出身



いのうえ ゆうだい
井上 雄大
長野県 出身

パートナー企業

事業受託企業

パートナー企業

事務局

Next Commons Lab

弘前

遠野

南三陸

東京

加賀

湖南

宮崎

西条

奥大和

NCLウェブサイト

<http://nextcommonslab.jp/minamisouma/>



NCL南相馬Facebook

<https://www.facebook.com/nclminamisouma/>



田舎の暮らし方ブログ

<https://inaka.arukikata.com/fukushima/minamisouma>



地方創生イベントの来場者に活動を紹介



小高区の皆さんとの意見交換会に参加



馬プロジェクトのために馬と触れ合い、視察